アフターサービスについて

1. 保証書（別に添付してあります）
保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間——お買い上げ日から1年間

2. 修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、再度調べていただき、直らないときには必ず接続している電源を外してから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

■保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

■連絡していただきたい内容
- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名、品番、お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

3. 補修用性能部品の最低保有期間
このビデオムービーカメラの補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、最低8年間保有しております。

4. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき
お買い上げの販売店または、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

便利メモ
●おぼえのため、記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日
品番	NV-S58
販売店名	電話（　）　—
お近くの当社ご相談センター	電話（　）　—

松下電器産業株式会社　ビデオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番15号　☎(06)908—1551

オーディオ・ビデオシステム事業部
〒571 大阪府門真市松葉町2番15号　☎(06)901—1161

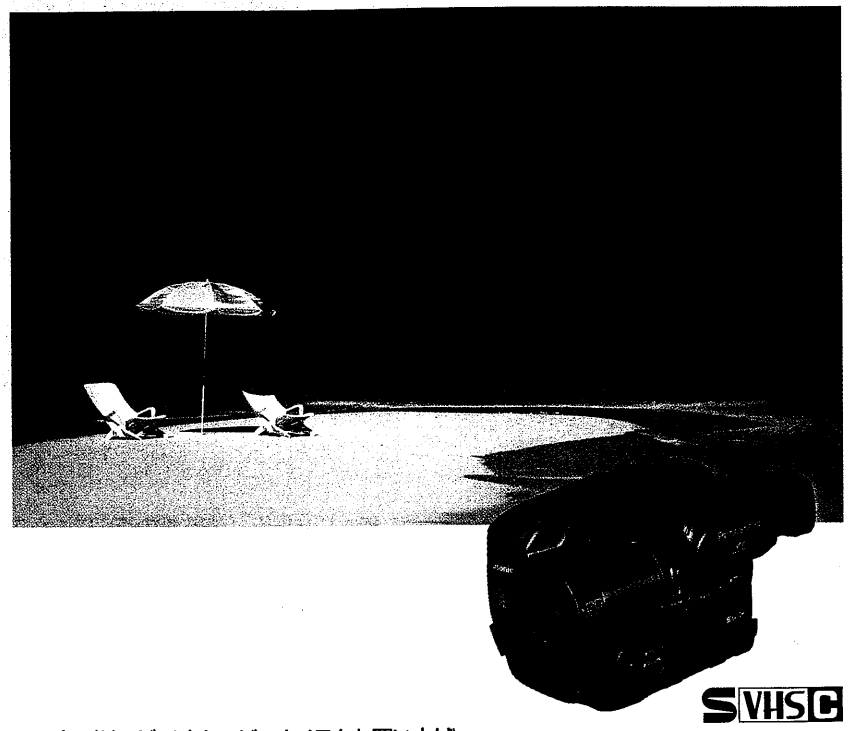
VQT5416
F0893M3034-3000 G

Panasonic

ビデオムービーカメラ

品番 NV-S58

取扱説明書



このたびは、ビデオムービーカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入を確かめて、お受け取りください。

VQT5416

保証書別添付　上手に使って上手に節電

■著作権について
あなたがテレビ放送や、レコード、録画物、実演展示物などから、録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■大切な撮影（結婚式など）には必ず事前に試し撮りをしてください。

■本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

付属品

S映像コード（P28）	映像/音声コード（P28）	レンズクリーナー（P37）

もくじ

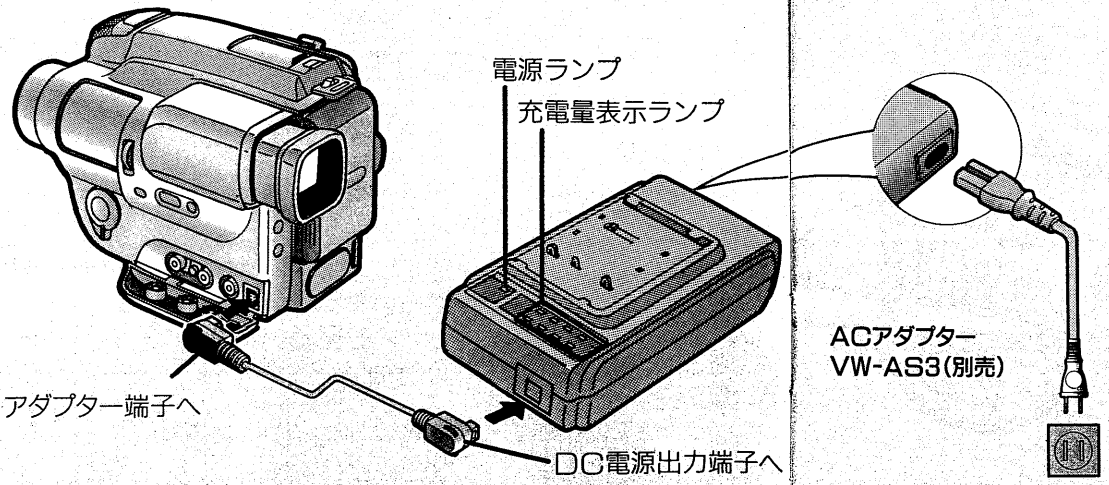
ページ

バッテリーを付ける／バッテリーを充電する……4
カセットを入れる……6
ファインダーのピントを調整する……6

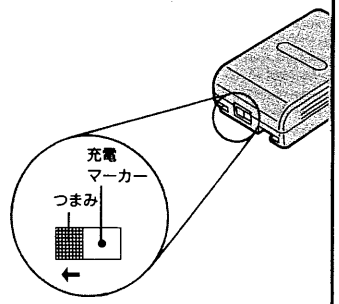
撮る／年月日、時刻を入れて撮る／撮れているかを確かめる……8
見る／見たいところを早くさがす……10
ビデオで見る……12
使用後は……12

ぶれを少なくして撮る……14
被写体を大きくまたは小さくして撮る……14
近づいて大きく撮る……14
スナップで撮る……16
セルフタイマーで撮る……16
セルフタイマースナップで撮る……16
スポーツ場面を撮る……18
明るさを補正して撮る……18
つなぎ撮りする……18
ピントを合わせる……20
自然な色合いで撮る……22
メニュー機能の使いかた／録画時間と使用テープの関係／撮影と再生の関係（カセットの互換性）……24

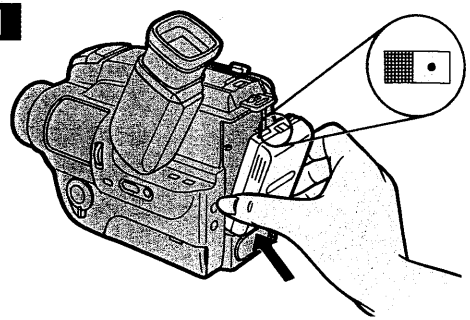
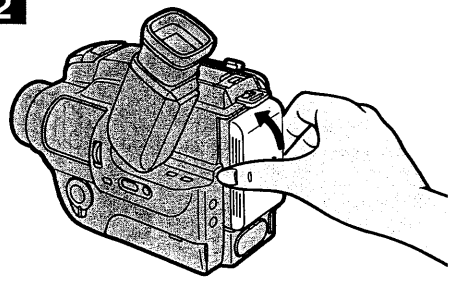
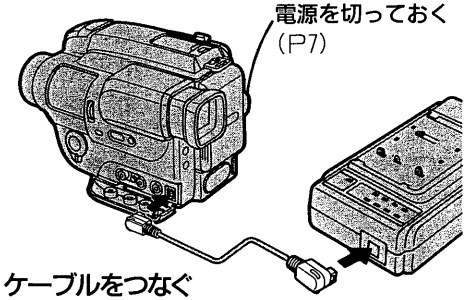
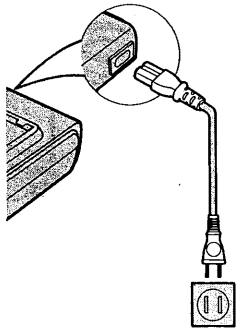
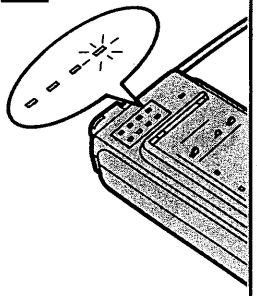
バッテリー以外の電源を使う
1 電源コンセントで／2 シガレットライターソケットで……27
テレビと接続して見る……28
編集する……29
ボタン電池を入れ換える……30
年月日、時刻を合わせ直す……31
構えかた……32
故障？と思ったら……34
使用上の注意……36
ファインダーの表示……40
各部の名前……42
海外で使う……46
定格……47
手入れについて……47
アフターサービスについて……裏表紙



充電マーカーの利用



図のようにずらしておくと、未充電のバッテリーと見分けることができます。

目的	手順		ご注意／他
バッテリーを付ける	**1**  充電マーカーのある方を上にして差し込み、	**2**  「カチッ」と音がするまで押さえる	バッテリーは充電せずに出荷しています。まず充電してください。
バッテリーを充電する	**1**  電源を切っておく (P7) ケーブルをつなぐ	 電源コードを最後までしっかりとつなぐ	**2**  4つ点灯すると充電完了です

バッテリー品番 (別売)	充電時間 (1個につき)	連続撮影可能時間
VW-VBH10	約50分	約45分
VW-VBH20	約110分	約90分

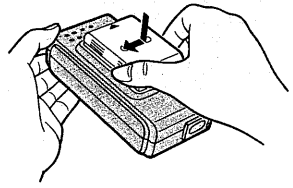
いろいろな機能を使ったり、断続撮影をすると連続撮影時間の約30%～50%になることがあります。

ACアダプターを本機の電源として使用しているとき(P27)は、バッテリーの充電はできません。

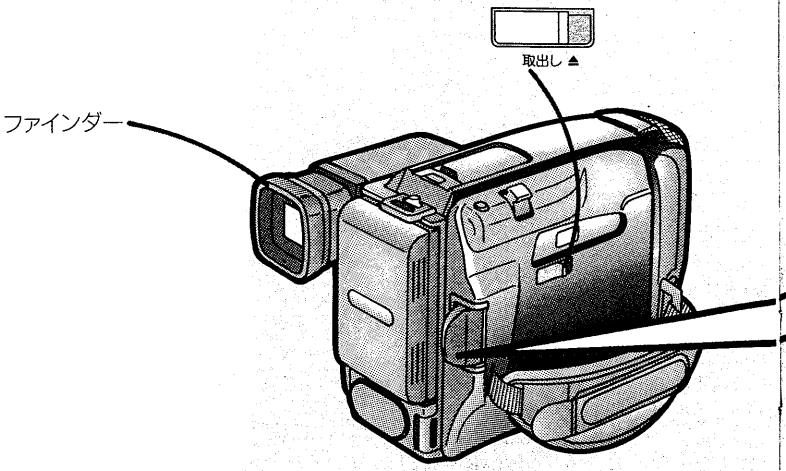
■ACアダプターに付けて充電するときは

バッテリーを図のように付ける

詳しくはACアダプターの説明書をお読みください。



■外すときは、逆の手順で外す



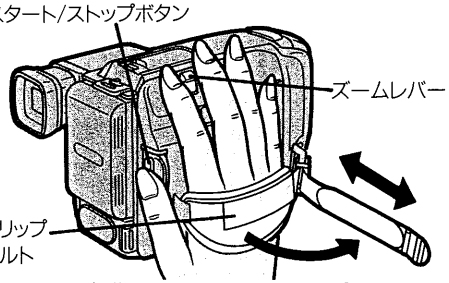
■電源を入れるには

開ける
この状態を「撮影の一時停止」といいます。

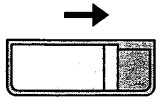
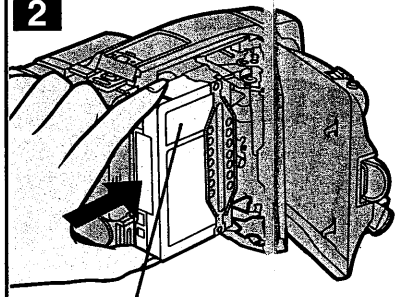
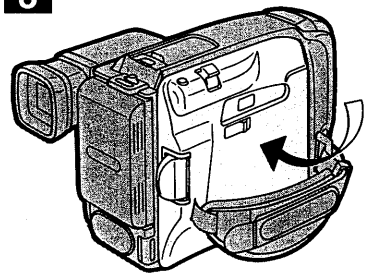
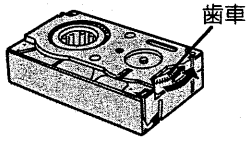
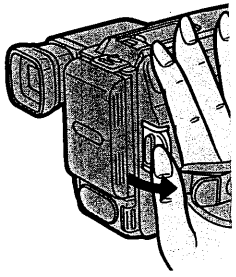
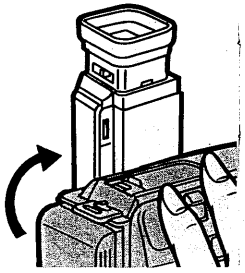
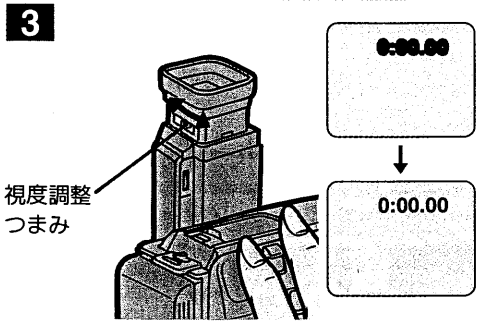
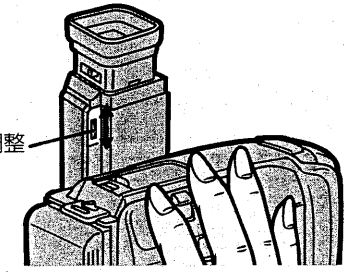
■電源を切るには

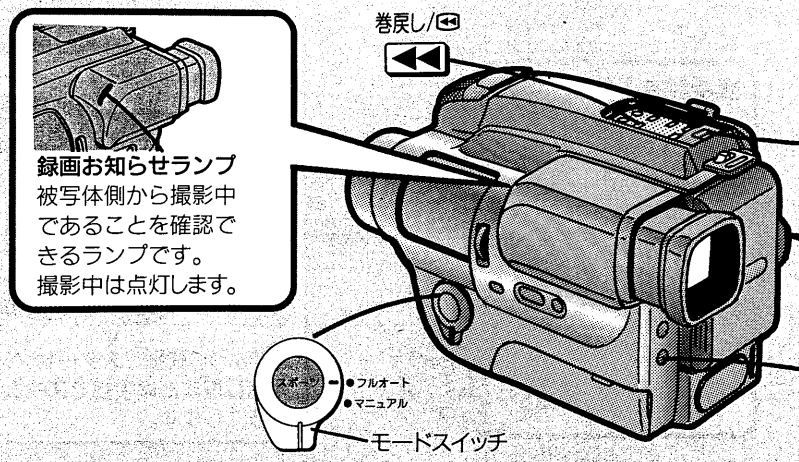
閉じる

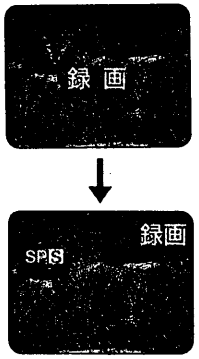
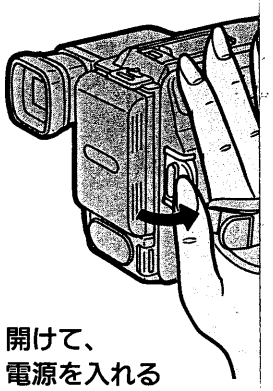
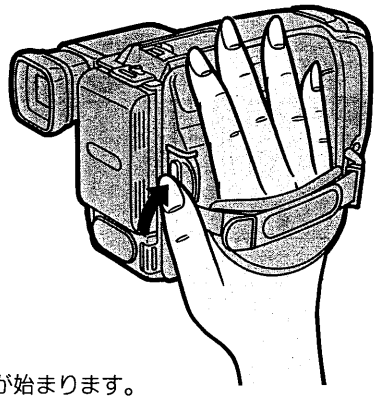
グリップベルトの調整



図のように親指でスタート／ストップボタンを、人差し指または中指でズームレバーを動かせるようにします。

目的	手順			ご注意／他
カセットを入れる S-VHSカセットを入れると、S-VHS方式で録画されます。(VHS方式のビデオでは見ることができません) S-VHSカセットにVHS方式で撮るときはP24、25、26をお読みください。	**1**  取出し ▲ ずらす	**2**  窓がこの位置にくるように入れる	**3**  閉じる	入れる前にテープのたるみがある場合は歯車を矢印方向に回してください。  歯車 **■出すときは** 取出しつまみをずらし、カセットを出す。
ファインダーのピントを調整する 人によって視力が異なります。 ファインダーを見て文字が一番よく見えるようにします。	**1**  開けて、電源を入れる	**2**  ファインダーを上げる	**3**  視度調整つまみ 文字がはっきり見えるところで止める	**■明るさを調整するには**  明るさ調整つまみ 少しずつ回し、適切なところで止める



目的	ファインダー	手順	ご注意
撮る モードスイッチが「フルオート」になっているか確かめてください。 「フルオート」になっているときは、自動的にピントが合い、自然な色合いで撮れます。	 	**1**  **開けて、電源を入れる** **2**  **押す** 撮影が始まります。 **■撮影を一時停止するときは もう一度押す**	撮影の一時停止が5分以上続くと、テープ保護とバッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。撮り始めるには電源スイッチを一度閉じ、もう一度開けてください。

■年月日、時刻を入れて撮る

押す

押すごとに以下のように変わります。

年月日だけを録画するとき → やめるとき（表示が消える） → 年月日と、時刻を録画するとき

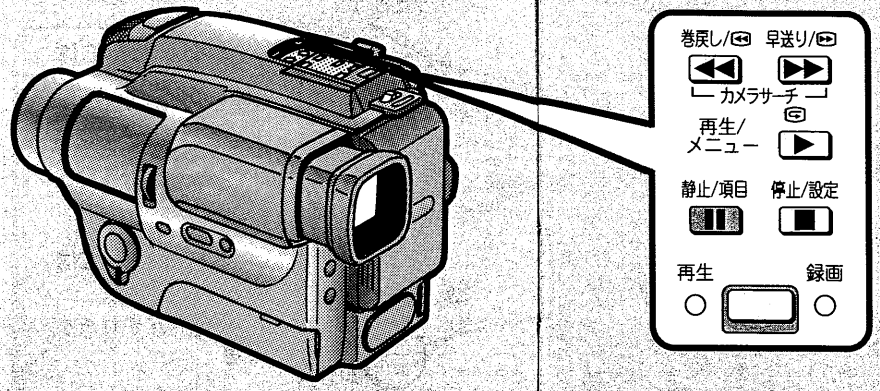
■撮れているかを確かめる

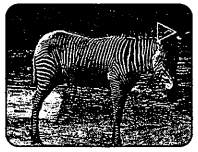
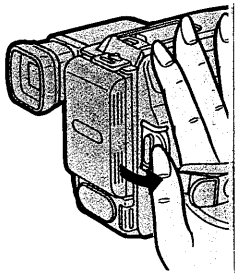
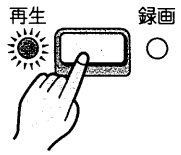
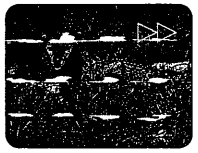
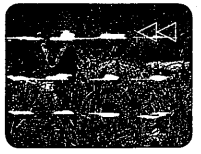
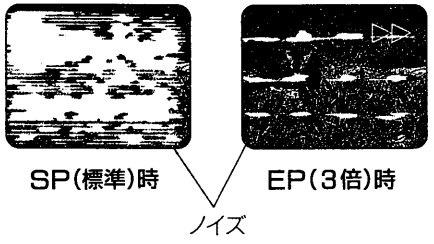
特に大切な場面などは、撮影の合間にこの操作をしてください。

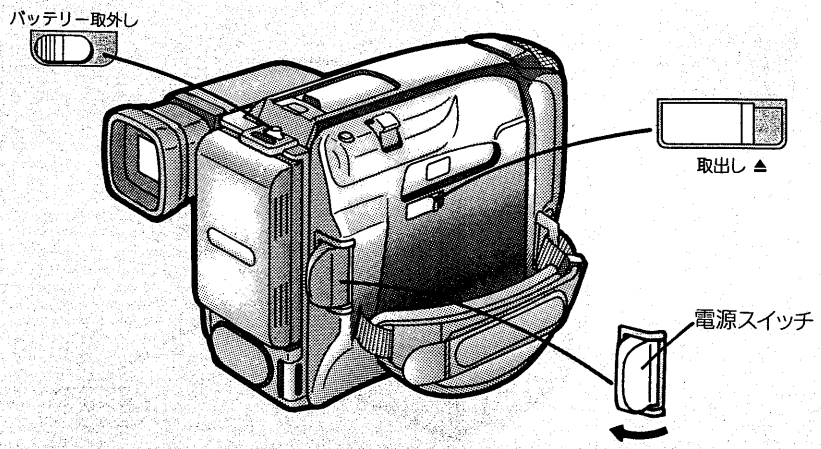
撮影の一時停止中に操作します。

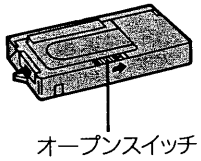
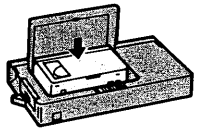
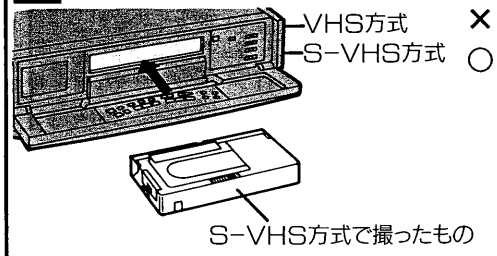
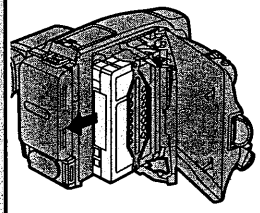
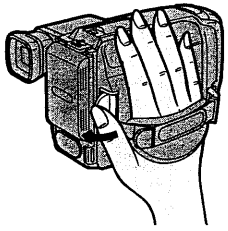
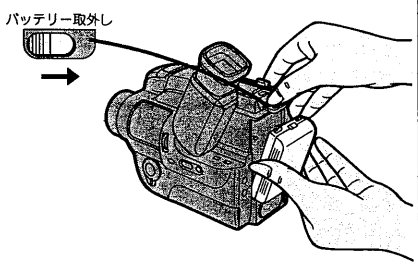
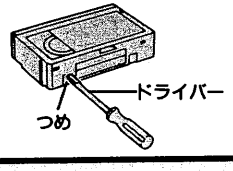
ファインダーをのぞきながら、ポンと押す

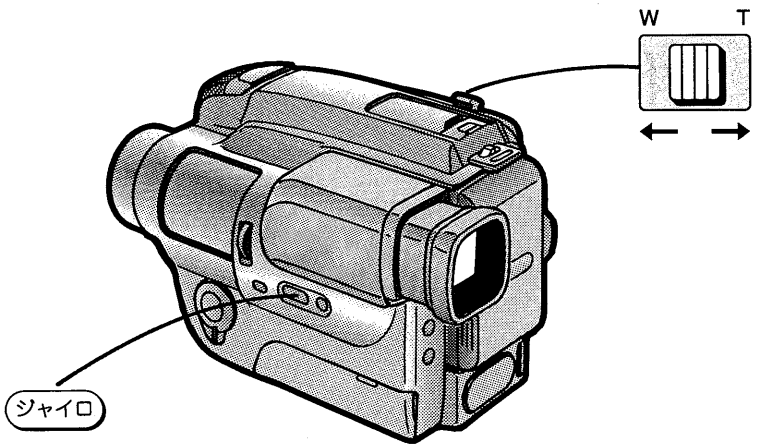
撮影した最後の部分を約2秒間再生した後、撮影の一時停止に戻ります。

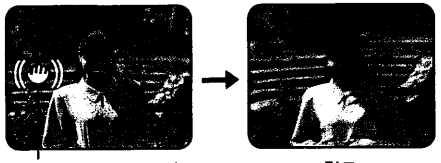
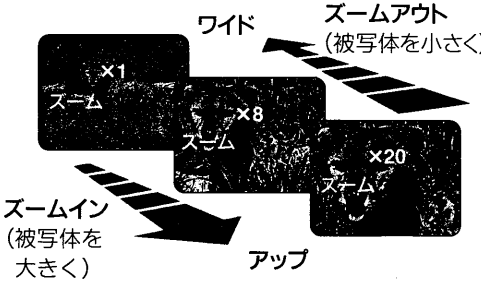
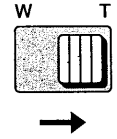
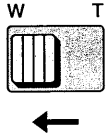
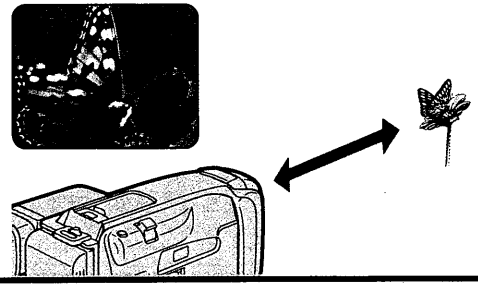
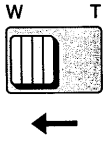


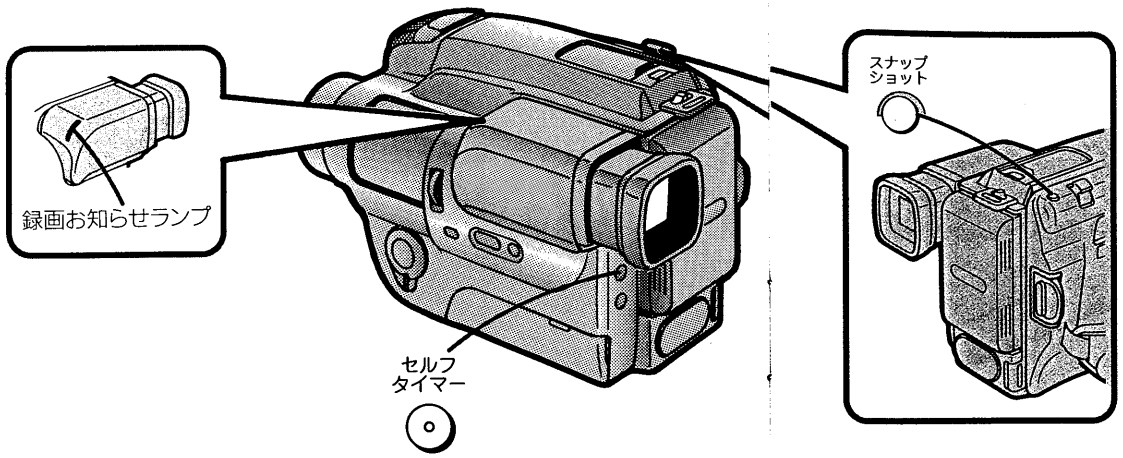
目的	ファインダー	手順				
見る (音声は出ません)		**1**  **開けて、電源を入れる**	**2**  再生　録画 **押して、再生ランプを点灯させる** 押すごとに再生と録画が変わります。	**3** 巻戻し/⏪　早送り/⏩ **押して、巻き戻す**	**4** 再生/メニュー **押す** ●ファインダーに撮った画面が出ます。 ●テープ終端になると自動的に巻き戻されます。	**■見るのをやめるには** 停止/設定 **押す**
見たいところを早くさがす 再生中に操作します。(音声は出ません) 1 早送りしてさがす 2 巻き戻してさがす	 	**1** 早送り/⏩ 巻戻し/⏪ **押し続けて、見たいところが出たら指を離す**	この操作をすると、画面にノイズが出ます。下図は早送り時の場合の一例です。  SP(標準)時　EP(3倍)時 ノイズ			

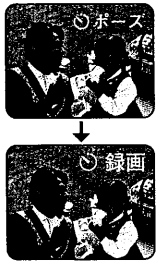
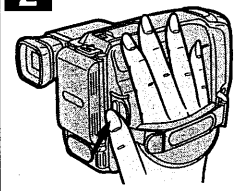
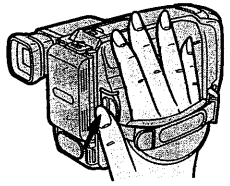
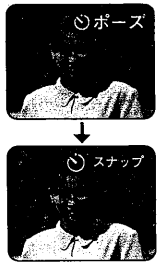
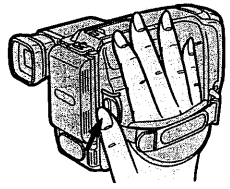


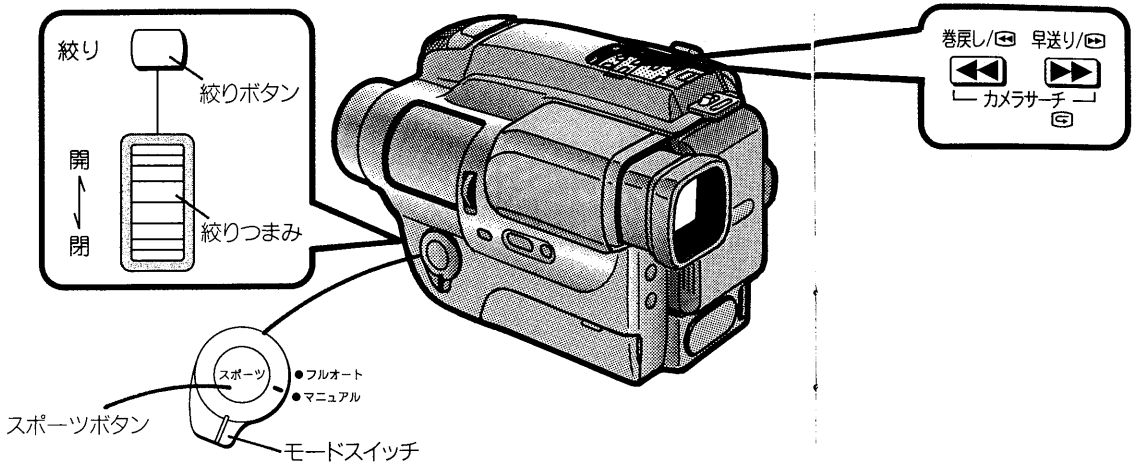
目　　的	手　　順		ご 注 意 ／ 他
ビデオで見る 別売のカセットアダプター／VW−TCA7を使用してください。	**1**  **オープンスイッチを矢印方向にずらし、ふたを開ける**	**2**  **カセットを入れ、ふたを閉じる**	**3**  **ビデオに入れ、テープを巻き戻して見る**	● S-VHS C カセットにVHS方式で撮影した場合はどちらの方式のビデオでも見れます。 ●VHS方式のビデオでも本体に「SQPB」のマークがある場合は見れます。
使用後は	**1**  **カセットを出す** (P7)	**2**  **閉じて、電源を切る**	**3**  **バッテリーを外す** レバーを矢印の方向にずらしながら外します。	●保管するときは、常温(25℃)に近く湿度の低いところを選んでください。 ●長期間使わないときでもときどき操作してください。 **■誤って撮影内容を消さないために** カセットの“つめ”を折っておくと、撮影できなくなります。(スライド式のものもあります) 



目　的	ファインダー	手順		ご注意／他
ぶれを少なくして撮る (ジャイロ) 次のようなときに効果があります。 ●被写体を大きくして撮るとき ●歩きながら撮るとき ●車の中から撮るとき	 表示が出ているときは「入」になっています。 「切」	**1** 押して、 (( )) 表示を出す	■解除するには 押して、 (( )) 表示を消す	●ぶれが大きい場合は、補正できないことがあります。 ●ズームレバー操作中は、補正できません。 ●蛍光灯の下では、画面が明るくなったり暗くなったり、色も変化することがあります。 ●三脚を使用しているときは、「切」にすることをおすすめします。
被写体を大きくまたは小さくして撮る (ズーム) 遠くの被写体を撮るときなどに効果があります。最高20倍まで被写体を大きく(アップ)にして撮ることができます。 デジタルズームを「切」にするにはP24をお読みください。		**1** ■ズームイン  T側にする	■ズームアウト  W側にする	●デジタルズームが働いているときは、画像をデジタル処理しますので、解像度は少し悪くなります。(10~20倍まではデジタルズーム) ●ズーム速度は可変速になっています。ズームレバーを強く操作すると、ズーム速度が速くなります。
近づいて大きく撮る (マクロ) 小さな植物や昆虫、アルバムの写真などを大きく撮るときに効果的です。		**1**  画面が変化しないところまでW側にする		■ピントの合う範囲 ●W側を押してワイドの終端近くにしておくと被写体との距離が5㎝以上でピントが合います。 ●T側にしてアップにしているときは1.2m以上でピントが合います。



目　　的	ファインダー	手	順		ご注意／他
スナップで撮る 5秒間だけ音声と静止画が撮れます。 撮影の一時停止状態で操作します。 スナップとは： 早撮りした写真のことです。		**1** 押す			●記録中は、ファインダーの画像も静止画となり「スナップ」表示が出ます。 ●一度記憶したものを記録するため、通常の撮影と比べると画質は少し悪くなります。
セルフタイマーで撮る 自分も入って撮れます。		**1** 押す	**2**  押す	■途中で解除するには  押す	ボタンを押して約10秒間待機した後、約10秒間撮影します。その後撮影の一時停止になります。 **■録画お知らせランプとは** 待機中：約10秒　点滅 撮影中：約10秒　点灯 撮影が終了すれば：消灯
セルフタイマースナップで撮る 自分も入って5秒間だけ音声と静止画が撮れます。		**1** 押す	**2** 押す	■途中で解除するには  押す	ボタンを押して約10秒間待機した後、約5秒間静止画を撮影します。その後撮影の一時停止になります。 **■録画お知らせランプは** 待機中：約10秒　点滅 静止画撮影中：約5秒　点灯 撮影が終了すれば：　消灯

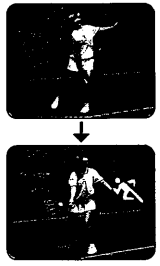
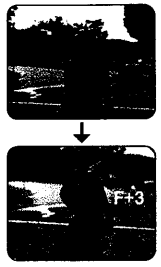
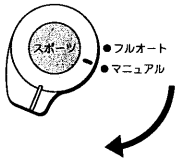
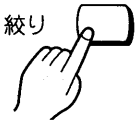
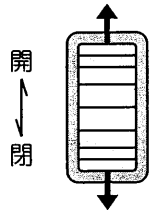
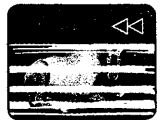
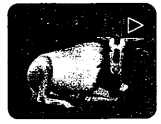
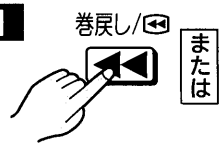
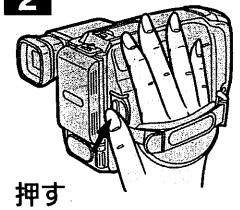


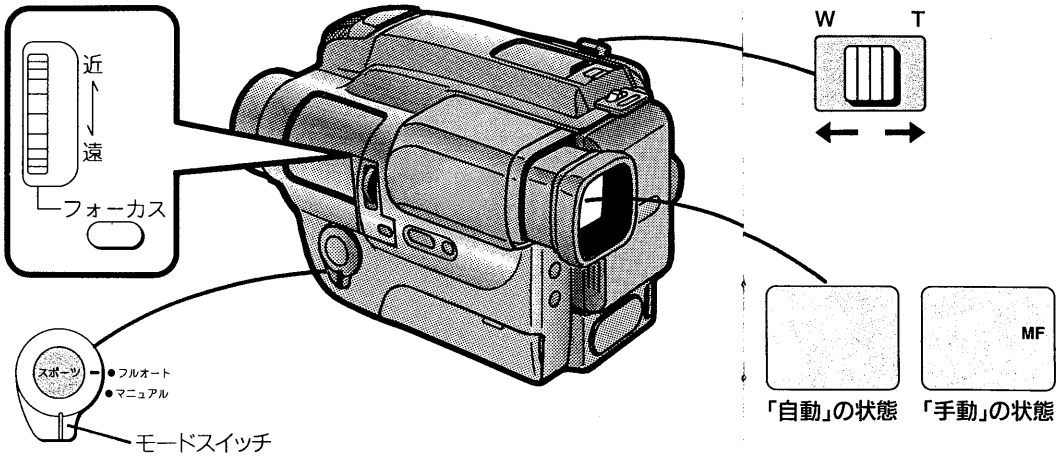
絞り補正値の範囲

開 ↕ 閉

F−7〜F±0〜F+7
(暗くなる)(標準)(明るくなる)

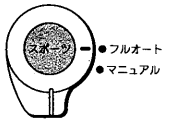
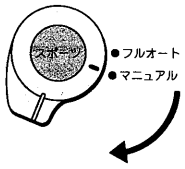
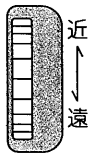
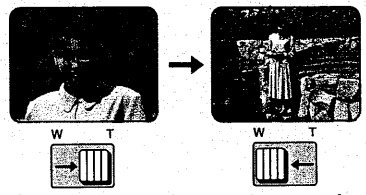
「開」方向へ回すと画面が明るくなり
「閉」方向へ回すと暗くなります。

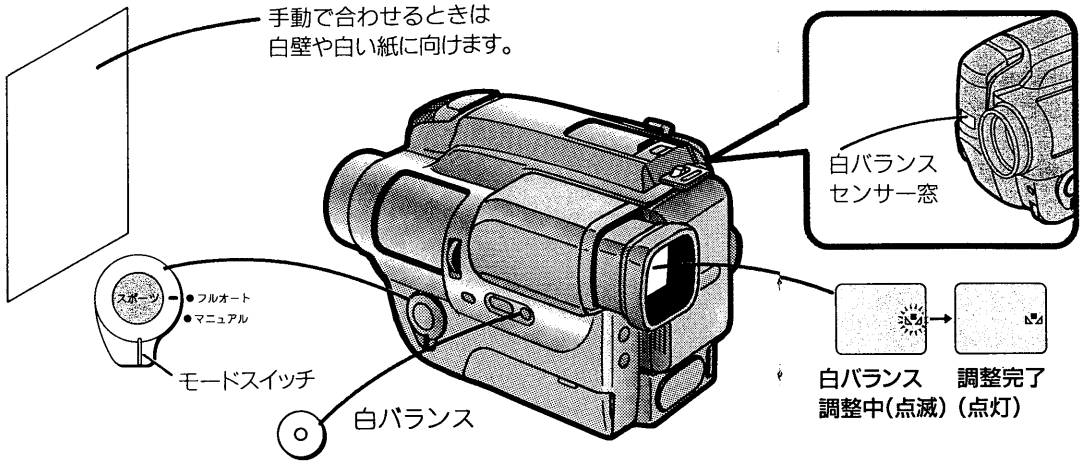
目的	ファインダー	手順			ご注意／他
スポーツ場面を撮る (スポーツ) シャッター速度が1/500になりおおよそのスポーツ場面をぶれを少なくして撮るのに効果があります。		**1** スポーツ ●フルオート ●マニュアル **押して、((🔇))表示を出す**	**■解除するには** スポーツ ●フルオート ●マニュアル **押して、((🔇))表示を消す**		●明るいところで撮ることをおすすめします。 ●スポーツモードを「入」、「切」すると、画面の明るさが急激に変化することがあります。 ●蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などでは、画面が明るくなったり、暗くなったりします。 ●光量が少ないときは((🔇))表示が点滅します。ハロゲンライト等で明るくして撮ってください。
明るさを補正して撮る (絞り補正) 逆光などのときにも効果があります。 背景が明るすぎると人物は黒ずんで写ります。	 F+3	**1**  スポーツ ●フルオート ●マニュアル **マニュアルにする**	**2**  絞り **押す** ファインダーに絞り補正値が出ます。(右上欄)	**3**  開 ↕ 閉 **開または閉に回し、調整する**	●青空が白っぽくなることがあります。 ●極端な逆光は補正できません。 ●太陽が斜め前上方にある状態で撮ると、星のような形をした光の写り込みが撮れることがあります。 **■通常に戻すには** 絞りボタンを押す。またはモードスイッチをフルオートにする。
つなぎ撮りする (カメラサーチ) つなぎ目をきれいに仕上げるのに効果があります。 撮影の一時停止中に操作します。	 	**1**  巻戻し/◀◀ または **1秒以上押し続け、つなぎ撮りしたいところをさがす**	 早送り/▶▶ ボタンから指を離すと撮影の一時停止状態に戻ります。	**2**  **押す** つなぎ撮りが始まります。	**■巻戻しボタンを押し続けると…** (テレビに接続しても音声は出ません) 巻戻し時の速度は録画時間によって異なります。 速度は、EP(3倍)のとき：9倍 SP(標準)のとき：3倍 **■早送りボタンを押し続けると…** (テレビに接続すると音声は出ます) 送り速度は通常の再生と同じです。



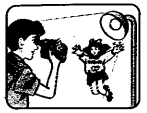
次のような被写体の場合は、手動でピントを合わせてください。

❶輝いたり、強い光が反射するもの
❷水滴や汚れの付いたガラス越しのもの
❸遠くと近くに共存するもの
❹白い壁など明暗差などのないもの
❺斜めのもの
❻ゴルフスイングなど動きの速い被写体
❼暗い被写体

目的	手順				ご注意／他
ピントを合わせる **1 自動の場合** （オートフォーカス） ほとんどの被写体に対して自動的にピントが合います。	**1** 操作は不要です  「自動」の状態になっています。	フルオートにしておくと下記の機能になります。 ●ピント自動 ●絞り補正自動（P18） ●白バランス自動(P22) ●デジタルズーム「入」（P24） ●ワイドテレビ「切」（P24）			ピントはファインダーの中央部に合います。撮るときは、下図のようにファインダーの中央になるようにしてください。 ○　×
2 手動の場合 （マニュアルフォーカス） 右ページ上のような被写体は、この方法でピントを合わせます。 MFとは： マニュアルフォーカス Manual Focus（手動ピント）の意味です。	**1**  マニュアルにする	**2** 押して、ファインダーに「MF」表示を出す	**3**  回してピントを合わせる	■ピントだけを自動に戻すには 押して、ファインダーの「MF」表示を消す	**合わせるコツ**  T側にして合わせる　W側にしてもピントはピッタリ W側にして合わせると、T側にしたときにピントがぼけることがあります。



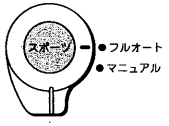
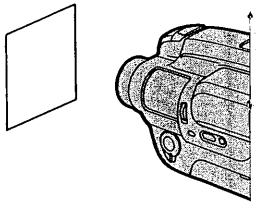
次のような被写体の場合は、手動で撮ってください。


水銀灯・ナトリウムランプ・一部の蛍光灯など

ホテルや結婚式場のライトや劇場のスポットライトなど非常に明るいとき、または光源の色温度が低いとき

日没・日の出などを撮るとき

●別売のNDフィルターやコンバージョンレンズを使用しているとき

目的	手順				ご注意／他
自然な色合いで撮る (白バランス) **1 自動の場合** ほとんどの被写体に対して自然な色合いで撮れます。	**1 操作は不要です**  スポーツ ●フルオート ●マニュアル **「自動」の状態になっています。**	フルオートにしておくと下記の機能になります。 ●白バランス自動 ●絞り補正自動(P18) ●ピント自動 (P20) ●デジタルズーム「入」(P24) ●ワイドテレビ「切」(P24)			●「自動」で撮影中、屋外から屋内に入ってくると画面が少し赤くなりますが、徐々に自然な画面に戻ります。 ●撮影中は光を感知する白バランスセンサー窓を手などでふさがないでください。
2 手動の場合 右ページ上のような被写体は、この方法で撮ります。	**1** スポーツ ●フルオート ●マニュアル **マニュアルにする**	**2**  **白い被写体を画面いっぱいに写す**	**3** 白バランス **◺■◿ が点滅から点灯に変わるまで押し続ける**	**■白バランスだけを自動に戻すには** 白バランス **押して、ファインダーの◺■◿ 表示を消す**	●暗い所では、「手動」で合わないことがあります。このときは「自動」で撮ってください。 ●青空やテレビ画面などを撮影中、瞬時にハロゲンライトなどの低色温度の照明に変わると色合いが悪くなります。 ●白バランスは一度合わせておくと、解除するまで記憶していますが、より正確に合わせるために、その都度合わせ直してください。

メニュー機能の使いかた

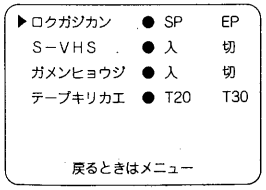
■メニュー機能とは、下表の6項目をファインダーに表示させてお好みの項目を選ぶ方法です。

●メニュー表示中は撮影はできません。（撮影をするときは右ページ手順5で撮影の一時停止にしてください）

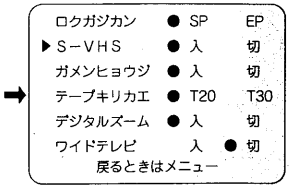
●ボタン電池が入っていれば、一度電源を切っても前のメニュー画面の記憶は残ります。

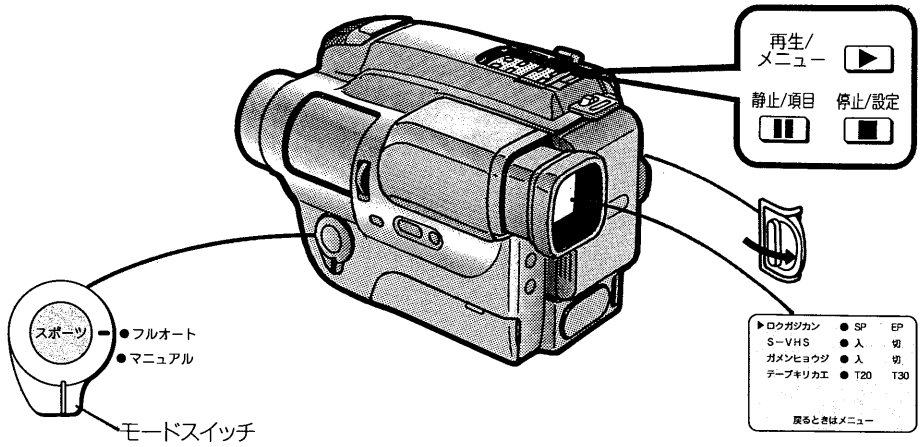
●メニュー表示はテレビ画面にも出画されます。（テレビとの接続はP28）

〈モードスイッチが「フルオート」時の表示〉



〈モードスイッチが「マニュアル」時の表示〉

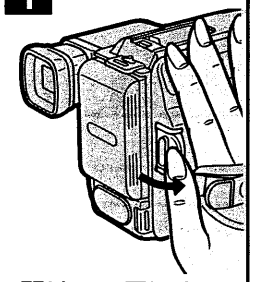




目　的	切換操作ができる条件	
	撮影中／再生中	撮影の一時停止状態
1) SP←→EPの切換	×	○
2) S-VHS←→VHSの切換	×	○
3) 画面表示 入←→切の切換 入：ファインダーの表示（P40） 切：警告、テープ走行、年月日、時刻以外のファインダー表示	×	○
4) T20←→T30の切換	×	○
5) 20倍（デジタル式）←→10倍の切換（光学式）	×	モードスイッチがマニュアル時にのみできます。
6) 16：9（ワイドテレビ画面）←→4：3の切換（通常のテレビ画面）	×	モードスイッチがマニュアル時にのみできます。

手順

1



開けて、電源を入れる

撮影の一時停止状態になります。

2

押してメニューモードにする

（下欄参照）

3

押して切り換えたい項目を選ぶ

4

押して選んだ項目を決定する

5 ■撮影の一時停止に戻すには

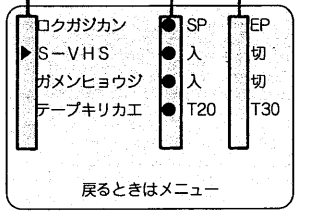
押す

初期設定

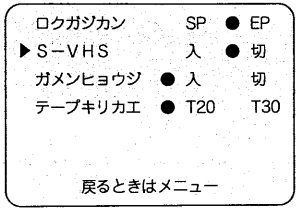
モードスイッチが「フルオート」時の表示です。

手順3の操作で左の▶が下に移動します。

手順4の操作で●が左・右に移動します。



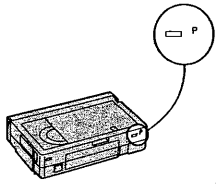
モードスイッチを「フルオート」にしたときで「VHS」の「EP（3倍）」を選んだ例



録画時間と使用テープの関係

本機出荷時の初期設定は「T20」「S−SP」になっています。
変更する場合はP24、25に従ってください。

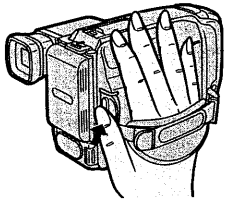
使用テープ	録画できる時間 S−SP (S-VHS 標準)	S−EP (S-VHS 3倍)	SP (VHS 標準)	EP (VHS 3倍)	ご注意
T20 (初期設定)	20分	60分	20分	60分	正確なテープの残り時間を表示させるために使用するテープの長さに必ず合わせてください。 ●Pマークの付いたカセットはT30に合わせてください。
	ファインダーには 20と表示されます。				
T30	30分	90分	30分	90分	
	ファインダーには 30と表示されます。				



撮影と再生の関係（カセットの互換性）

撮影済みのカセットを見るには1）ファインダーで、2）本機とテレビを接続して、3）お手持ちのビデオでがあります。特にビデオで見るときは下表を確認してください。

〈撮影時〉



使用できるカセット	録画できる方式		ご注意
S-VHS C カセット	S−VHS	○	どちらでもできます。ただし、VHSの場合録画方式の変更が必要です。（P24、25）
	VHS	○	
VHS C カセット	S−VHS	×	VHS Cを入れると自動的にVHS方式になります。
	VHS	○	

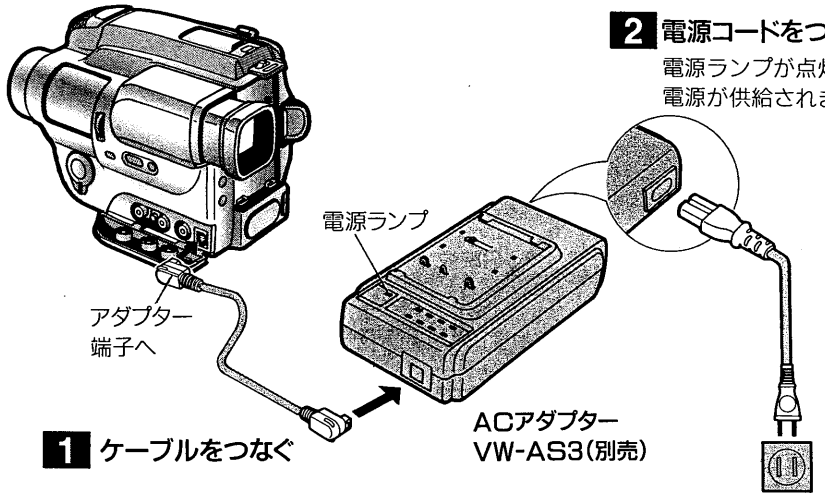
〈再生時〉

録画された方式	本機	S−VHS方式のビデオ	VHS方式のビデオ	ご注意
S−VHS	○	○	× 見ることはできません	VHS方式のビデオでも本体に「SQPB」のマークがある場合は可能です。
VHS	○	○	○	

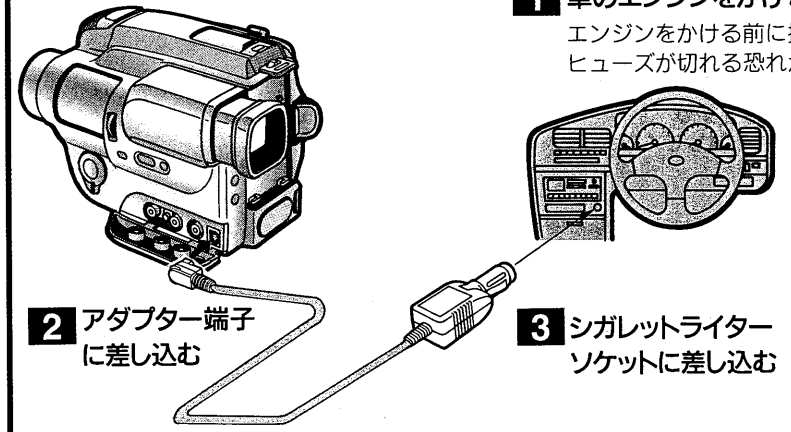
バッテリー以外の電源を使う

1 電源コンセントで

室内では、電源コンセントにつなぐと、
バッテリーの消耗を気にせずに撮れます。



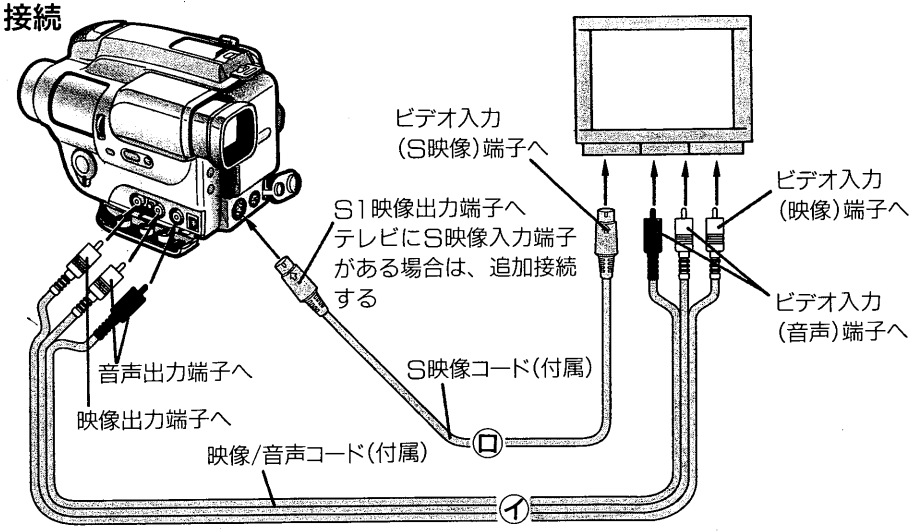
2 シガレットライターソケットで



■ご注意
使用できる車は、DC(直流)12V・⊖接地車に限ります。

テレビと接続して見る

接続



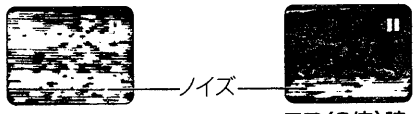
■ご注意

- テレビにビデオ入力（映像／音声）端子がない場合、別売のRFアダプターVW-RF7が必要です。
- テレビのビデオ入力（音声）端子がモノラルの場合は、音声出力(左)端子１本だけの接続となります。

■操作

1 テレビの主電源を「入」にする
2 ㋑㋺の接続の場合：
テレビの入力切換を「S映像」にする
㋑のみの接続の場合：
テレビの入力切換を「ビデオ」にする
3 本機の再生操作をする
（P10、P11を参照してください）

〈静止画で見る〉
再生中に静止／項目ボタンを押す



SP(標準)時　　EP(3倍)時

■静止画再生の画面は

- 上記の写真のようになり、SP(標準)時の画面は見づらくなります。
- ノイズが上下にぶれることがあります。

■通常の再生に戻すには
もう一度静止／項目ボタンを押す

〈トラッキング調整〉

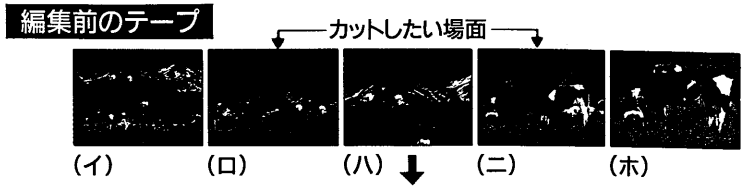
画面が左図のようになった場合はトラッキング調整が必要です。

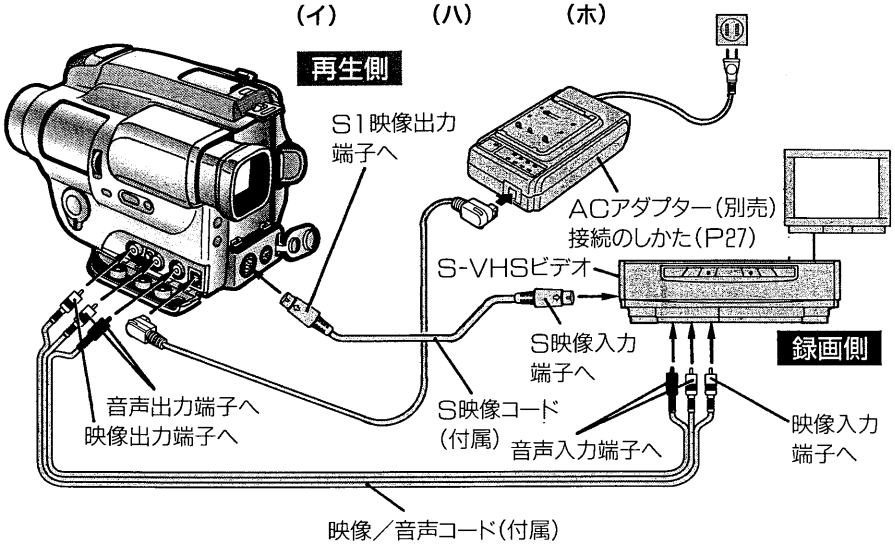
同時に押す
よくならない場合は、◀または▶ボタンを押して微調整する

■ご注意
他のムービーで撮影されたカセットや撮影状態が悪い場合、完全に調整できないことがあります。

編集する

撮影済みテープの不要な場面をカットして、残したい場面をつなぐ方法です。





■操作

再生側

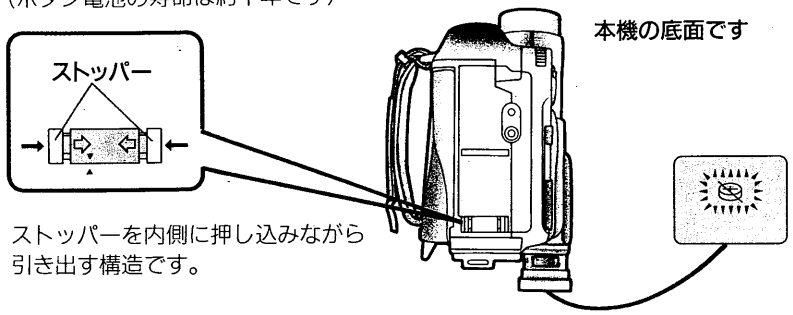
1.本機の電源を入れる
2.撮影済みカセットを入れ再生し、カットしたい場面をメモしておく
3.編集したいところ（イ）まで巻戻しておく
5.再生を始める

録画側

4.録画用のカセットを入れ、録画の一時停止にする
画像の劣化を防ぐため録画時間は標準(SP)でることをおすすめします
6.一時停止／静止ボタンを押して、録画を始める
7.カットしたいところ（ロ）で一時停止／静止ボタンを押す。
8.録画したい場面（ハ）が現れたらもう一度一時停止／静止ボタンを押す
9.7・8を繰り返して編集する

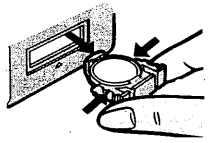
ボタン電池を入れ換える

電源を入れたときにファインダーに下の表示が点滅したときは、電池が消耗しています。
新しい電池を入れてください。
（ボタン電池の寿命は約１年です）

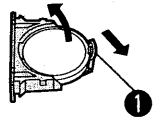


ストッパーを内側に押し込みながら引き出す構造です。

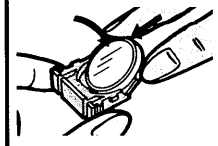
1 ストッパーを内側に押し込みながら、ホルダーを引き出す



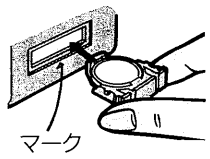
2 ❶ を押さえながらボタン電池を外す



3 新しいボタン電池の ⊕ 側を下にして、ホルダーに差し込み、「カチッ」と音がするまで押さえる
（ボタン電池品番 CR2032）



4 ▼▲ マークを合わせ、ホルダーを元どおりに入れる



5 年月日、時刻を合わせ直す（右ページ）

ボタン電池は工場出荷時に本機に入れ、年月日も合わせてあります。

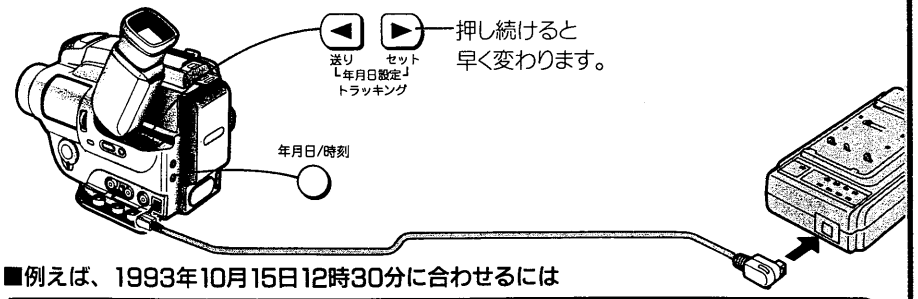
■ご注意
- ⊕⊖を確かめ正しく入れる
- ショートさせたり、分解や加熱、また火に投入しない
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる
- 電池は幼児の手の届かない所へ置く

■万一、お子様がボタン電池を飲み込んでしまったときは
ただちに医師と相談してください。
真夜中など、お近くの医師に相談できない場合には、下記へ電話して指示を受けてください。

毒性等に関するお問い合わせ先
(財)日本中毒情報センター〈24時間受付〉
・大阪中毒110番　電話06-871-9999
・筑波中毒110番　電話0298-52-9999

年月日、時刻を合わせ直す

ACアダプターまたはバッテリーを接続して、本機の電源を入れる



■例えば、1993年10月15日12時30分に合わせるには

目的	手順		ファインダー
1. 年月日表示を出す	1 年月日/時刻ボタンを押す		0:00 1990.1.1
2. 年を合わせる	1 送り 年が点滅するまで押し続ける	2 セット 押して、「1993」にする	0:00 1993.1.1
	年の変わりかた →1990→1991→1992→……→2089→		
3. 月を合わせる	1 送り 押して、月に送る	2 セット 押して、「10」にする	0:00 1993.10.1
4. 日を合わせる	1 送り 押して、日に送る	2 セット 押して、「15」にする	0:00 1993.10.15
5. 時を合わせる 24時間表示です。	1 送り 押して、時に送る	2 セット 押して、「12」にする	12:00 1993.10.15
6. 分を合わせる	1 送り 押して、分に送る	2 セット 押して、「30」にする	12:30 1993.10.15
7. 時計を働かせる	1 送り 押す 時計が動き始めます。		12:30 1993.10.15

- 途中で間違ったときは、最初からやり直してください。

構えかた

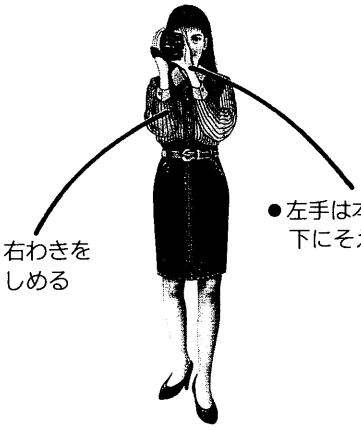
■手ぶれ補正(ジャイロ)を生かして

片手でも、手ぶれをおさえて撮れます。

■低い位置からの撮影

構えかたによって
ファインダーの
角度を変えます。

■手ぶれ補正を使わないときは



- 足は少し開き、しっかり構える
- 構えたまま歩くときは、両目を開け周囲の状況を見るようにする
- より安定した画像を得るためには、三脚の使用をおすすめします。

■より安定した画像を得るために

壁や柱に寄りかかり安定させる

被写体の大きさ(ショット)は

クローズアップ
一部分の強調に効果的
被写体をアップにして撮る

アップショット
表情がよくわかるように、
肩から上を撮る

バストショット
表情に服装をプラスして、
人物の撮影によく使われます。

ウェストショット
会話や手の様子がよくわかるように、人物の腰から上を撮る

フルショット
客観的な画面づくりに、全身を完全に入れる

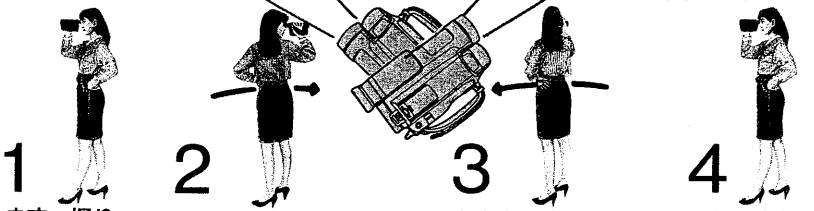
風景や広い会場を撮るときは (パンニング)

水平にゆっくり動かすのがコツです。

この位置では
5秒程度、安定
した画面を撮る

撮りながら画面を説明できるくらいの速さで動かす

この位置では
5秒程度、安定
した画面を撮る



1 まず、撮り終りの位置に体を向ける

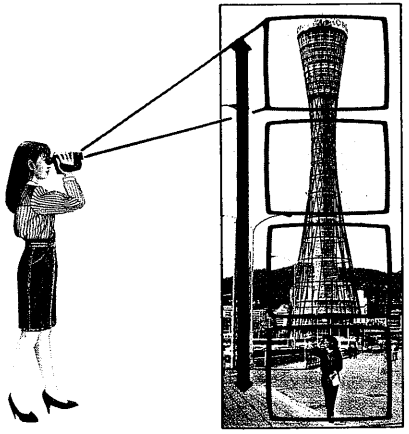
2 足を動かさずに上半身を撮り始め方向にねじって撮り始める

3 上半身をゆっくりと回し元の位置に戻す

4 最初の姿勢で撮り終わる

高い樹木やビルディングなど、たて長のものを撮るときは (チルティング)

上下にゆっくりと動かすのがコツです。



- 撮り始めと終りはパンニングと同様に5秒程度の安定した画面を撮る
- 高さを表現したいときは、下から上へ
- 高いビルから人が出てくる場面は上から下へ。ビルの玄関から人物のアクションへとつなぐと自然な流れになります。

故障？と思ったら

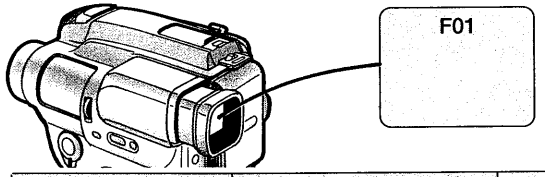
次表に従って点検しても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	こんなときは	ここをお確かめください	ページ
電源	電源が入らない	●バッテリーやACアダプターが正しく接続されていない。 ●撮影の一時停止状態が5分以上続いた。	4 9
	電源が入ってもすぐに切れる	●バッテリーが消耗している。 ●露付きになっている。	4 38
	バッテリーの消耗が早い	●十分に充電されていない。 ●低い温度のところで使っている。 ●バッテリーの寿命になっている。	4 39 39
撮影	カセットを入れて撮影しようと思ってもできない	●カセットの“つめ”が折れている。（つめの部分にセロハンテープを貼ると再び撮影できます）	13
	スタート／ストップボタンを押しても撮影が始まらない	●再生ランプが点灯している。 ●カセットの“つめ”が折れている。 ●露付きになっている。 ●メニューモードになっている。	11 13 38 25
	ファインダーに表示が出ない	●メニューモードの画面表示が「切」になっている。	24
	ファインダー内の表示や画像がはっきりしない	●視度、明るさ調整が合っていない。 ●ファインダーにごみやほこりが付いている。	7 47
	自動でピントが合わない	●ピントが「手動」になっている。 ●被写体が中央からずれている。 ●自動では合わない被写体を撮影している。	20 21 21
	記憶させた年月日、時刻表示が消えている	●ボタン電池が消耗している。 ●ボタン電池の入れ換え操作をした。 ●年月日、時刻ボタンを押し、無表示にしている。	30 30 8
再生	再生／メニューボタンを押しても再生されない	●撮影の一時停止になっている。（再生ランプがついていない）	11
	再生したらテレビ画面に白い線が出る	●トラッキングがずれている。	28
	静止画再生にすると、テレビ画面にノイズが出る	●故障ではありません。	28
	テレビに再生画像が出ない	●テレビとの接続が正しくない。 ●テレビがビデオ専用チャンネルになっていない。	28 28

	こんなときは	ここをお確かめください	ページ
再生（つづき）	色が正しく出ない	●テレビの色調整が十分でない。	—
	テレビの再生画像がカラーにならない	●トラッキングがずれている。 ●ヘッドが汚れている。 ●ヘッドが摩耗している。 ●テープが古くなっている。	28 38 38 —
	再生が乱れる	●S-VHS方式で撮影したものをVHS方式のビデオで再生している。	24
その他	カセットの取り出しができない	●カセット取出しつまみを正しくずらしていない。	6
	カセット取出しつまみを正しくずらしてもカセットが取り出せない	●誤ってスタート／ストップボタンを押し、テープを走行させている。	9
	テープの早送り、巻戻し中に停止した	●メモリー機能が働いている。	43
	カセット取出しつまみ以外のボタンが働かない	●露付きになっている。	38

本機は異常の状態を知らせる自己診断機能を持っています。

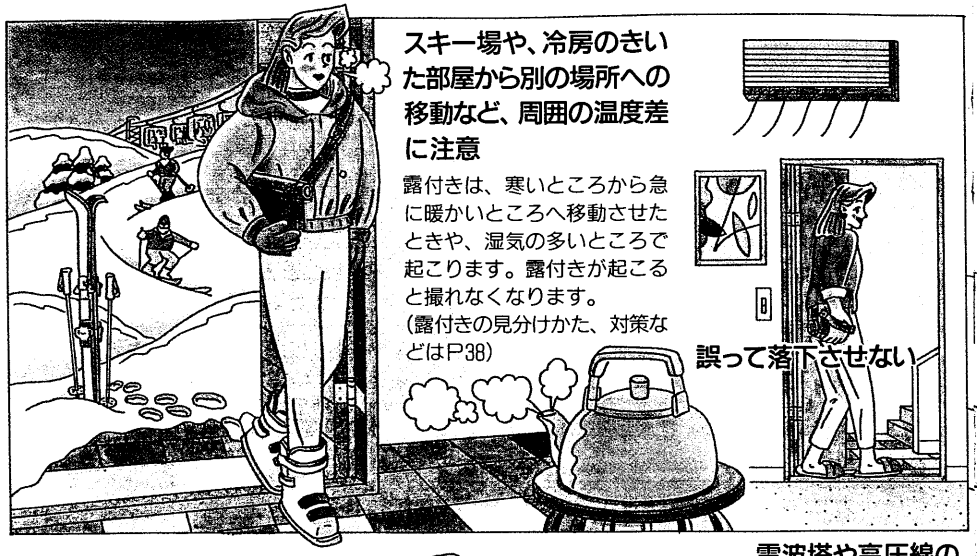
ファインダーに以下の表示（サービス番号）が出たときは、下表を参考にご対応ください。



異常表示	本機の状態	対応のしかた
U10	露付きが起こっています。	表示が消えるまで待ってください。(P38)
U11	ヘッドが汚れています。	クリーニングテープをお使いください。(P38)
F01 F02 F03 F04 F05	異常と思われます。 (F以降の数字は本機の状態によって変わります)	修理を依頼するときに、ファインダーの表示(サービス番号)をお知らせください。 (例えばF01と出ている場合は「F01」とお知らせください)

使用上の注意

正しく安全にお使いいただくための情報です。必ず守ってください。
万一、本機から煙が出ている、変な音やにおいがする、正常に動作しないなどの症状が出ているときは、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。



スキー場や、冷房のきいた部屋から別の場所への移動など、周囲の温度差に注意

露付きは、寒いところから急に暖かいところへ移動させたときや、湿気の多いところで起こります。露付きが起こると撮れなくなります。
(露付きの見分けかた、対策などはP38)

誤って落下させない

分解しない
内部に異物を入れない
故障の原因になります。

熱器具の近くに置かない

直射日光の当たるところに長時間置かない
変形や故障の原因になります。

ベンジンやシンナーなどの薬品を使って手入れをしない
変形や塗料はげの原因になります。

湿気やほこりの多いところに長期間置かない
レンズにカビが発生したり、ヘッド汚れの原因になります。

幼児の手の届くところに置かない

電波塔や高圧線の近くでは使わない
撮影画像が悪くなる原因になります。

衝撃を与えない

レンズカバーを汚さない
指紋や水滴が付いているときれいに撮れません。撮る前にレンズクリーナー(付属)できれいにふいてください。

水にぬらさない

雷が鳴り出したら使わない

砂ぼこりの多いところでカセットの出し入れをしない
故障の原因になります。

夏期などは自動車の中に放置しない
変形や故障の原因になります。

レンズを太陽の強い光に向けない
故障の原因になります。

露付きについて

露付きが起こると

本機やテープが「露付き」や半結露状態になると、テープがはり付いてテープやヘッドを傷めたり、正常に撮れません。

露付きの症状

以下のような症状が出たら露付きが起こっています。

- ファインダーに⊡が点滅している。(数秒間点滅してから自動的に電源が切れます)

処置

①カセットが入っているときは出す
②数時間待つ(周囲の状況によって異なります)
③電源を入れる
④露付き表示が消えていることを確認する
⑤念のため、さらに1時間ほど待つ

- 露付きは徐々に進行しますので、露付き表示が点滅していなくても露付きが始まっている場合があります。
- 寒冷地域では露が凍結して霜になる場合があります。霜は感知しませんので、霜が溶けて露になるまでは露付き表示が出ませんのでご注意ください。

露付きの予防

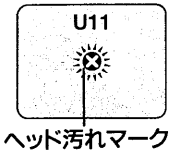
本機やカセットを寒いところから暖かいところへ移動した場合は、部屋の温度になじませてから使用してください。また移動の際は、温度差をなくすよう、布やビニール袋などに入れておいてください。

ヘッド汚れについて

ヘッドが汚れると撮影画像が悪くなります。

汚れの原因

1. 空気中のほこり
2. 高温、多湿(梅雨期など)
3. テープの傷
4. 長期間の使用



ファインダー内のU11についてはP35を参照してください。

汚れた状態で撮ると、再生時に次のようになります。

上下にぶれる

全体にノイズ

末期状態

汚れの手入れ

- 電源を入れ、ファインダーに⊗マークが点滅するとヘッドが汚れています。しかし、少しの汚れは撮影を始めるたびにテープの走行により自然に汚れが落ち、自動的に⊗マークは消えます。
- 汚れがひどくなると、撮影能力が悪くなり、最悪になると、正常に撮れなくなります。次の処置をしてください。

症　状	処　置
⊗マークが出ている 再生画像が左図のようになる	別売のクリーニングテープ/NV-TCL20Pをお求めのうえ、約15秒間撮影操作をしてヘッド汚れを取る ●クリーニングした後、撮影をしてみて、⊗マークが点滅しないか確かめる

定期点検とヘッドの交換

使用1,000時間(使用環境、温度、湿度やほこりの程度により異なる)をめどに、点検されることをおすすめします。また、摩耗するとヘッドの交換が必要です。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

バッテリーについて

バッテリーの特性を知り、次のことを守ってください。

1. 特性を知る
↓
2. 十分に充電する
↓
3. こまめに節電して使う
(撮影しないときは電源を切る)
↓
4. ファインダーにが点滅するまで使う
↓
5. 使用後は正しく保存する

■特性

本機に使用するバッテリーはニッケル水素蓄電池です。この蓄電池は、充電して使わずにおくと自然に容量が少なくなる(自己放電といいます)特性があります。自己放電は1ヵ月で約20%、2ヵ月で約30%になり長期間保存しておくと、容量はなくなります。使用する直前または前日ぐらいに充電することが大切です。

使用可能時間について

低温では、使用時間が短くなります。
内部で電気エネルギーを発生させるための化学反応は周囲の温度が高いほど化学変化が活発になり、低いほど起こりにくくなります。

■上手に充電するには

充電環境は

温度が低くなるほど充電しにくくなりますので、10℃～35℃の範囲での充電をおすすめします。
充電中は本機があたたかくなりますが、異常ではありません。

使用時間が短くなったり、長期間保存していたバッテリーを充電するには

- 充電ランプがすべて点灯しても24時間そのまま充電する。この方法で容量が回復しないものは、寿命がきていますので、新しいものと交換してください。

■正しく保存するには

自己放電による容量低下は保存温度が高くなるほど大きくなります。

- 涼しい場所を選ぶ
- 直射日光の当たるところや自動車のダッシュボードなど高温になるところに置かない

本機に付けたままにしておくと、電源を切っていても微少電源が流れています。

- 使わないときは必ず外しておく

危険ですので、次のことにご注意ください

- 火中に投入しない
- 端子を金属物にふれさせてショートさせない
- 分解や改造をしない
- 専用の充電器以外は使用しない

次のことにご注意ください

■本機も含め、最近の電気製品にはマイコンが内蔵されているものが多くなっています。
マイコンを内蔵した機器は電磁波を出しています。電磁波により他の機器に影響をおよぼしたり、本機が影響を受けたりしますのでご注意ください。

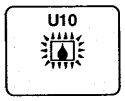
- 本機が影響を受け、正常に動作しない場合は、電源(バッテリー、ACアダプター)を一度外してから、あらためて接続し、電源を入れ直してください。

■本書内の写真について

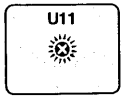
ファインダー内の映像を説明するために、カラー写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

ファインダーの表示

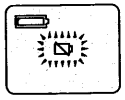
警告表示



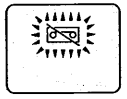
露(つゆ)付き（P38）
露付きが起こっています。



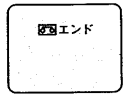
ヘッド汚れ（P38）
ヘッドが汚れています。



バッテリー容量（P39）
バッテリーの容量が少なくなるにつれ、
→ → → と変わっていきます。
になると容量がありません。

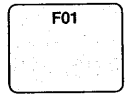


テープ
カセットが入っていません。
入っていても“つめ”が折れています。



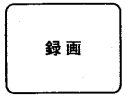
テープエンド
テープが終わりです。

ボタン電池（P30）
- 消耗しています。
- ボタン電池が入っていません。



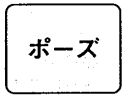
異常表示（P35）
本機が異常と思われます。

テープ走行表示

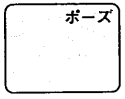


撮影(録画)中（P8）
撮影の一時停止状態からスタート／ストップボタンを押すと、約1秒間表示されます。

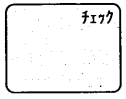
撮影(録画)中（P8）



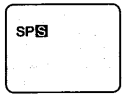
撮影の一時停止中（P9）
撮影状態からスタート／ストップボタンを押すと、約1秒間表示されます。



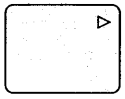
撮影の一時停止中（P9）



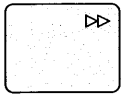
撮影の確認中（P9）
（録画チェック）



S-VHS方式と録画時間(P24)
S-VHS方式で撮影中のときのみ録画時間の後に「S」が出ます。

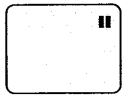


再生およびカメラサーチ中
（P10、P18）



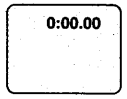
テープの早送りまたは早送り再生中（P10）

テープの巻き戻しまたは巻き戻し再生中（P10）

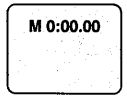


静止画再生中（P28）

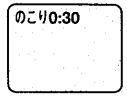
撮影中などの表示



テープカウンター（P43）
撮影や再生時のテープ走行経過時間が表示されます。

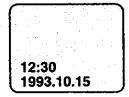


メモリー表示（P43）
早送り、巻き戻しをすると、カウンターが「0：00.00」付近で停止します。

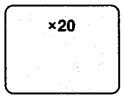


テープの残り時間（P26）
残量が2分以下になると「のこり」と残り時間が点滅します。

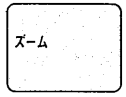
使用中のテープの時間表示
（P26）



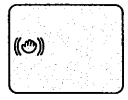
年月日、時刻表示中（P8）
無表示にもなります。



ズームの倍率表示（P14）

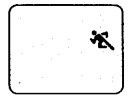


ズーム表示（P14）
モードスイッチが「フルオート」時または、デジタルズーム「入」時に表示します。

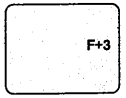


手ぶれ補正を「入」にして撮影中
（P14）

スナップ撮影中（P16）



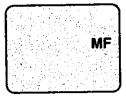
スポーツモード撮影中（P18）
光量が少ないときは(( ))表示が点滅します。



絞り補正値（P18）

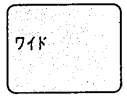
セルフタイマーモード中（P16）
撮影の一時停止状態からセルフタイマーボタンを押すと約1秒間表示されます。

セルフタイマーモード中（P16）



ピント合わせ（P20）
- 自動にしているときは無表示。
- 手動にすると左記のマークが出ます。

白バランス表示(P22)
- 自動にしているときは無表示。
- 手動にすると左記のマークが出ます。



ワイドモード中（P24）
ワイドテレビ「入」時に表示します。

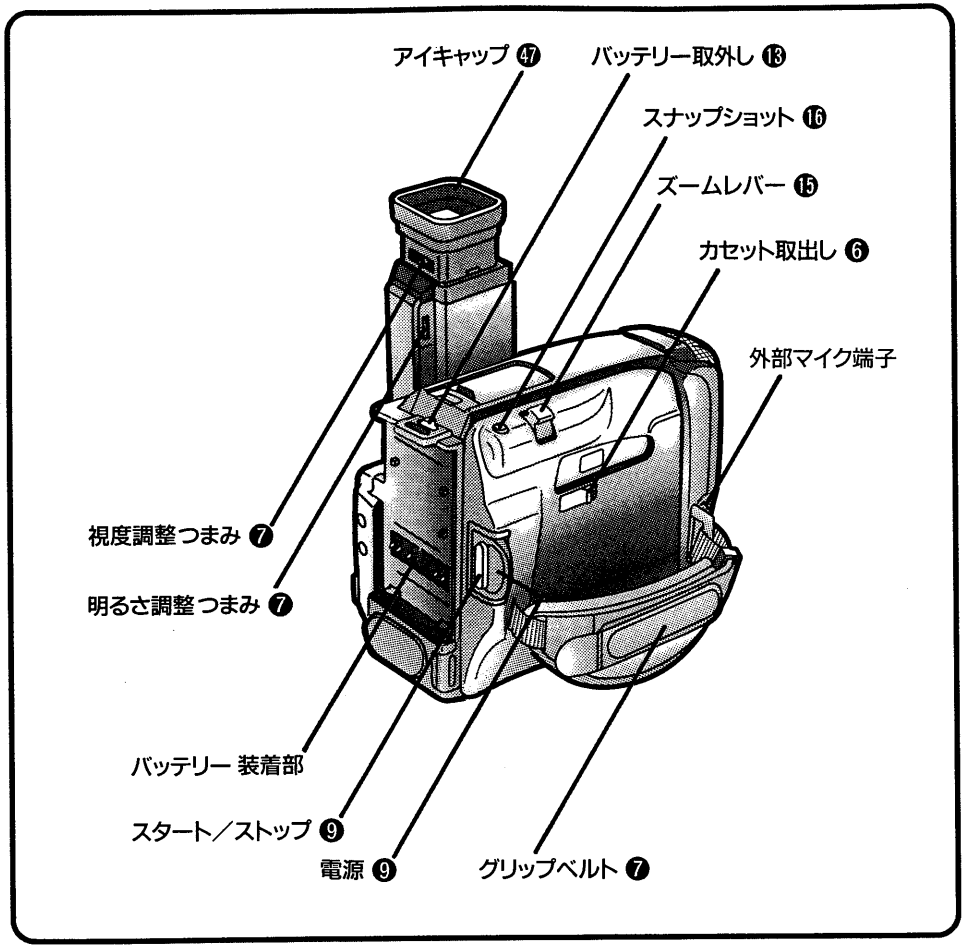
頭出し信号記録中（下記参照）

■頭出し信号について

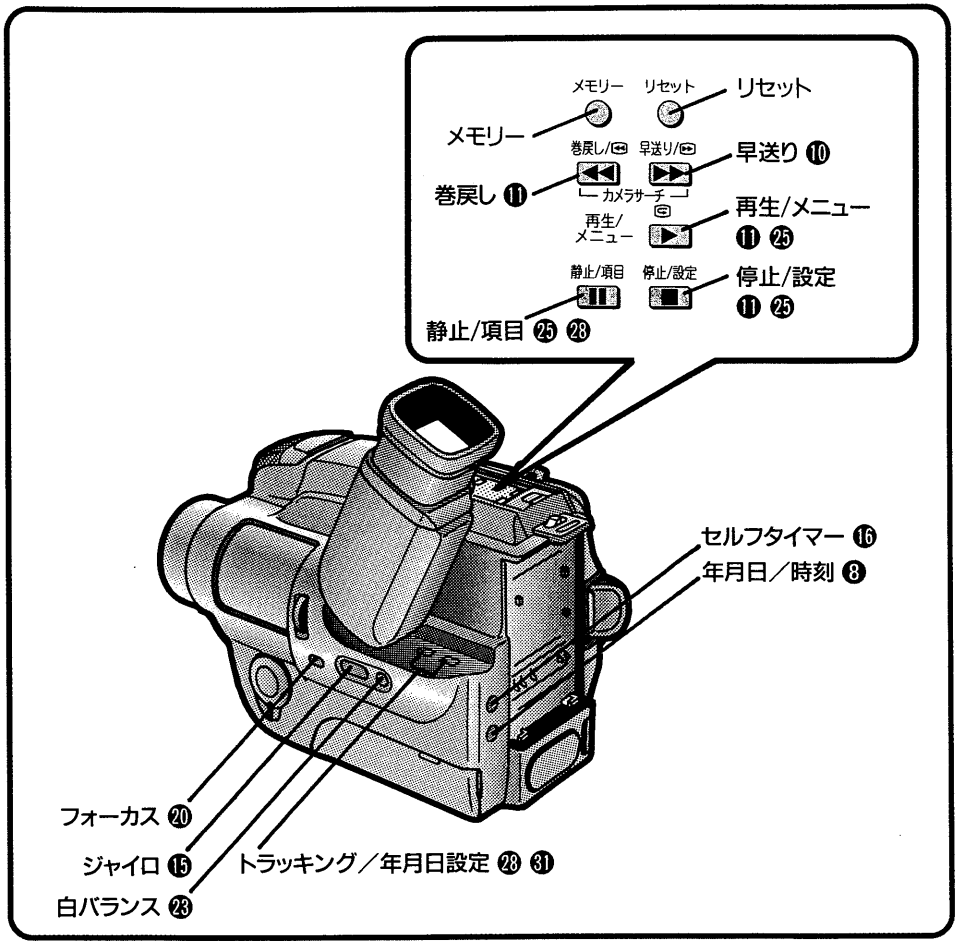
本機で撮影したカセットは、VISS(ビス)対応のビデオで再生するとき、この信号で頭出しができます。
(本機ではできません)
本機で次の操作をしたときに自動的に記録され、記録中はファインダーに「INDEX」が数秒間点滅します。
1. カセットを入れ換えたとき
2. 撮影途中で再生をし、再び撮影を始めたとき

VISS(ビス)とは
Video(ビデオ) Index(インデックス) Search(サーチ) System(システム)の略です。

各部の名前 ●の中の数字は参照ページです。

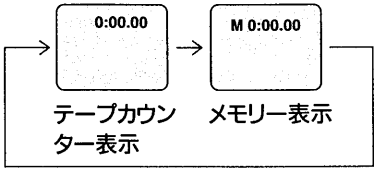


外部マイク端子
- 外部マイクを接続すると、本機のマイクは働きません。
- ステレオマイクを使うと、Hi-Fi音声はステレオで、モノラルのマイクでは左のチャンネルに録音されます。

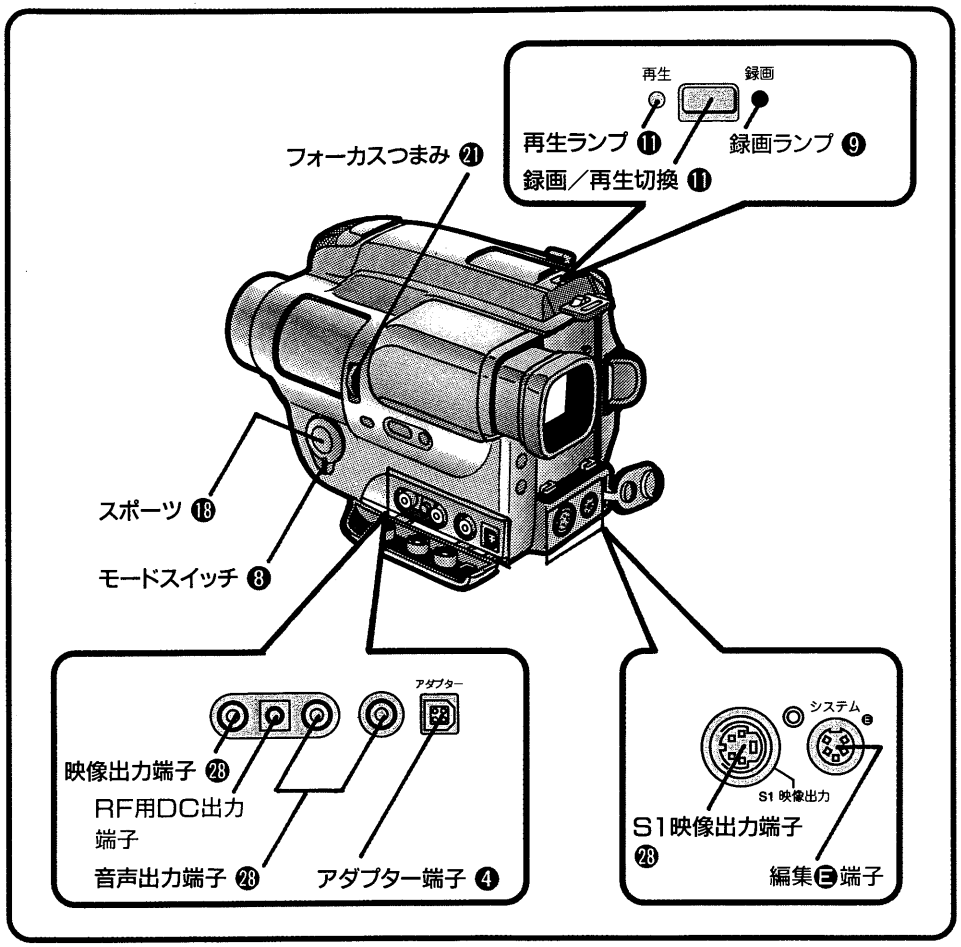


リセットボタン
押すと、テープカウンターが「0:00.00」になります。

メモリーボタン
押すごとに次の順に表示が変わります。



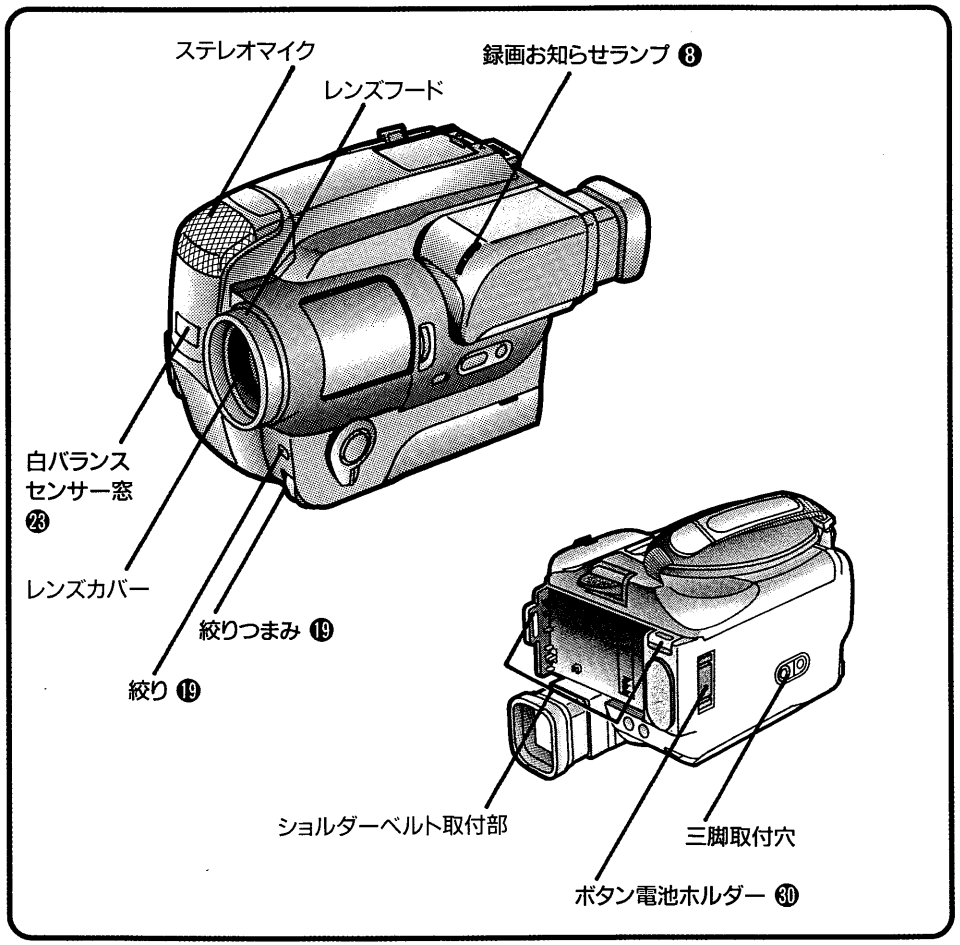
■メモリー機能
「M」を出しておくと早送り、巻き戻しをしたときに「0:00.00」付近で止めることができます。



録画ランプ
ランプが点滅したらバッテリーの容量がありません。または異常が起こっています。
（ファインダーに異常表示（P35）が出ます）

RF用DC出力端子
RFアダプターVW−RF７（別売）を接続するときに使います。
RFアダプター用の電源として使用します。

編集Ⓔ端子
ビデオエディティングコントローラーVW−EC300、VW−EC1（別売）を接続するときに使います。
編集をよりスピーディに行うことができます。

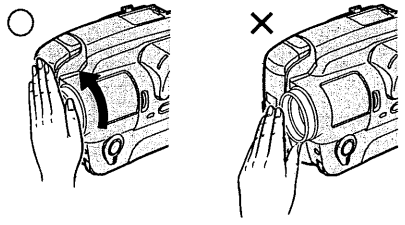


ステレオマイク
中高域に対して単一指向性、低域に対して無指向性としての性能を組み合わせています。

ショルダーベルト取付部（上下２ヵ所）
ショルダーベルト（別売）を取り付けます。

レンズカバー
指紋などがつくときれいに撮れません。
撮る前にレンズクリーナー（付属）できれいにふいてください。

■レンズフード（レンズカバー付き）の外しかた
NDフィルター（別売）などを付けるときは図のように手のひらで回して外します。
フィルターなどを付けた状態でレンズフードは付けられません。



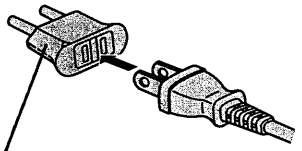
海外で使う

1 充電するには

ACアダプターVW－AS3(別売)は、海外でもバッテリーを充電できます。
ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、各地域に合った変換プラグ（空港売店等で販売）が必要になります。

■海外の電源コンセントと必要な変換プラグ

コンセントの形状					
変換プラグ	不要です。ACアダプターのプラグを直接差し込みます。主に北米、南米などの場合			★	主にオーストラリアなどの場合



変換プラグの一例
★別売品のアクセサリーキット VW-PCCS1、ACアダプター VW-AS3には同梱されています。主にヨーロッパなどで使います。

■ご注意
- 保証書は、国内のみ有効です。
- 万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

2 撮ったものを見るには

①テレビで見る場合
日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)の映像／音声入力端子付テレビ、接続コードが必要です。
②ビデオで見る場合
日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)のテレビ、ビデオ、カセットアダプターが必要です。

■日本と同じNTSC方式を採用している国、地域

アメリカ合衆国
アンチグア・バーブーダ
イエメン（一部地域）
英領バミューダ諸島
エクアドル
エルサルバドル
ガイアナ
カナダ
キューバ
グァテマラ
グァム島
グレナダ
コスタリカ
コロンビア
ジャマイカ
スリナム
セントクリストファー・ネイビス
セントビンセント・グレナディーン諸島
セントルシア
大韓民国
台湾
チリ
ドミニカ共和国
ドミニカ国
トリニダード・トバゴ
ニカラグア
ハイチ
パナマ
バハマ
バルバドス
フィジー
フィリピン
プエルトリコ
米領サモア
ベトナム（一部地域）
ベネズエラ
ベリーズ
ペルー
ボリビア
ホンジュラス
マーシャル諸島
マリアナ諸島
ミクロネシア連邦
ミャンマー
メキシコ

定格

安全項目

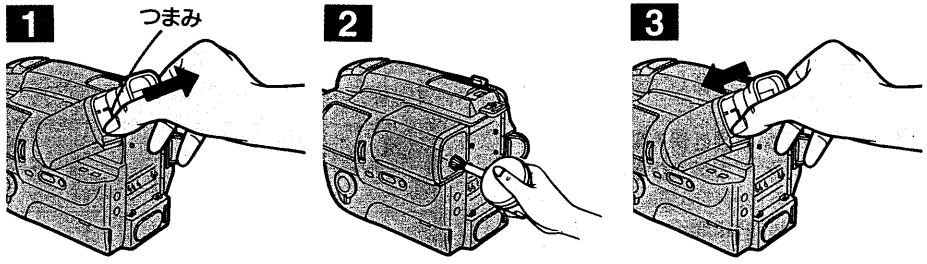
電源	DC6V/4.8V
消費電力	録画時8.3W

信号方式	NTSC日米標準信号方式
録画方式	S-VHS規格及びVHS規格
使用テープ	S-VHS, VHS カセットテープ
録画時間	最大90分 (NV-STC30使用の場合)
テープ速度	33.35mm／秒（標準時） 11.12mm／秒（3倍時）
早送り・巻戻し時間	約6.5分 (NV-STC30使用の場合)
音声トラック数	3トラック（ハイファイ 2トラック／ノーマル 1トラック）
撮像素子	CCD固体撮像素子
レンズ	自動絞り10倍電動ズーム F1.8（f4.6～46mm） マクロ付き（フルレンジAF）
ズーム	20倍デジタルズーム※
フィルター径	37mm
ビューファインダー	電子ビューファインダー (0.7"カラー)
マイクロホン	ステレオマイクロホン
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式 ハイブリッドTTLフルオート （Tセンサー搭載）
標準被写体照度	1400ルクス
最低照度	8ルクス
映像出力	1Vp-p 75Ω
S映像出力	Y出力 1Vp-p 75Ω C出力 0.286 Vp-p 75Ω
音声出力	400mV 600Ω
マイク入力	−70dB 600Ω 適合マイク(ステレオ:M3ジャック)
外形寸法	幅105×高さ116×奥行195㎜
本体質量	約790g
使用時質量	約990g （バッテリー：VW-VBH10、テープ：NV-STC20 使用の場合）
推奨使用温度	0℃～40℃
許容相対湿度	35%～80%
バッテリー持続時間（連続使用）	VW-VBH10 約45分 VW-VBH20 約90分

※10倍までは光学ズーム、10～20倍まではデジタルズーム

手入れについて

■ファインダーの清掃



1 つまみを押さえながら矢印方向に引き出す
2 カメラのブロアーブラシなどでほこりを取る
3 元どおりアイキャップを付ける

■本体の清掃

柔らかい布で軽くふき取る。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる。
化学ぞうきんを使用の際は、その注意書に従ってください。